

《平成28年度教育連携協議会教育連携事業》
高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業の聴講
実施要項

1 目的

高校と大学は、高校の生徒に対して大学の授業の聴講を認めることにより、特定の分野について高い能力と強い意欲を持ち、高等学校レベルの内容にとどまらず様々な教育を受けることを希望する生徒に大学レベルの教育を履修する機会を与える。それによって、個々人の持つ多様で特色ある能力や個性を効果的に伸ばすとともに、生徒自らの進路決定への意識的な取り組みの促進を図ることを目的とする。

2 聴講科目

● 開講学部：文学部・教育学部・法学部・理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部
環境理工学部・農学部

● 授業期間：第1学期 4月1日 ～ 6月2日
第2学期 6月3日 ～ 7月31日
第3学期 10月1日 ～ 12月1日
第4学期 12月2日 ～ 2月10日
※補講については、土曜日を含め、授業担当教員が指定した日

● 時 限：6時限（15：10～16：10）
7時限（16：20～17：20）
8時限（17：30～18：30）

● 開講授業科目
：開講授業科目は別紙参照（本学ホームページよりシラバス閲覧可能）
シラバス確認→http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

3 受入れ人数及び受入れ条件

受入れ人数は、授業科目毎に定められた人数（別紙参照）とする。
受入れ条件は、高校の校長からの推薦を受けた生徒とする。

4 聴講の申込み及び聴講の決定

高校は、聴講を希望する生徒のうち校長の推薦を受けた生徒について、推薦書（所定様式を希望学部ごとに1枚ずつ分けて作成する）を添付して、第1学期・第2学期は平成28年3月4日までに、第3学期・第4学期は平成28年9月2日までに大学に申込む。大学は、聴講を許可する生徒を決定し、第1学期・第2学期は平成28年3月25日までに、第3学期・第4学期は平成28年9月23日までに高校に通知する。

5 聴講証

大学は、聴講証を発行しない。聴講する生徒は、高校の発行する生徒手帳を携行し、これをもって聴講証とする。

6 成績の評価

大学は、高校の生徒が聴講した授業科目の成績評価は行わない。ただし、授業の出欠状況が良好な生徒については、修了証書を発行する。

なお、本事業で聴講した科目について、高校の学校設定教科として単位認定を行うかどうかは、各高等学校の判断によるものとする。

7 聴講の費用

聴講料は、無料とする。ただし、授業に使用するテキスト代及び授業にかかるその他の費用は、生徒各自が負担する。

8 事故の免責

聴講中の不慮の災害事故及び聴講のための通学途中における事故等については、高校が傷害保険等に加入して責任を負い、大学は責任を問われない。

担当・問い合わせ先
岡山大学学務企画課総務・企画グループ 八木・片岡・長尾
TEL 086-251-7186 FAX 086-251-8440
koudai@adm.okayama-u.ac.jp

平成28年度「高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業」学部別科目一覧

【文学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1・2	火	7	専門科目	思想史講義	本村 昌文	制限無	第1学期, 第2学期の連続開講。

【教育学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1・2	火	7・8	専門科目	中等社会科指導法A	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第1学期, 第2学期の連続開講。
第1	火	7・8	専門科目	世界史概論(1)	飯田 洋介	若干人	第2学期の世界史概論(2)もあわせて履修すること。
第2	火	7・8	専門科目	世界史概論(2)	飯田 洋介	若干人	第1学期の世界史概論(1)もあわせて履修すること。
第1	木	7・8	専門科目	経済学概論(国際経済を含む)(1)	大熊 正哲	10	第2学期の経済学概論(国際経済を含む)(2)もあわせて履修すること。
第2	木	7・8	専門科目	経済学概論(国際経済を含む)(2)	大熊 正哲	10	第1学期の経済学概論(国際経済を含む)(1)もあわせて履修すること。
第3・4	月	7・8	専門科目	気象学	加藤 内藏進	若干人	第3学期, 第4学期の連続開講。
第3・4	火	7・8	専門科目	中等社会科指導法B	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第3学期, 第4学期の連続開講。
第3	月	7・8	専門科目	工芸 I (1)	山本 和史 清田 哲男	2~3	第4学期の工芸 I (2)もあわせて履修すること。
第4	月	7・8	専門科目	工芸 I (2)	山本 和史 清田 哲男	2~3	第3学期の工芸 I (1)もあわせて履修すること。
第3	木	7・8	専門科目	工芸理論(1)	山本 和史	2~3	第4学期の工芸理論(2)もあわせて履修すること。
第4	木	7・8	専門科目	工芸理論(2)	山本 和史	2~3	第3学期の工芸理論(1)もあわせて履修すること。

【法学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	火	7・8	専門科目	現代政治入門	成廣 孝	20	
第3	火	7・8	専門科目	法史学a	波多野 敏	5	第4学期の法史学bもあわせて履修すること。
第4	火	7・8	専門科目	法史学b	波多野 敏	5	第3学期の法史学aもあわせて履修すること。

【理学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 I a	吉野 雄二	若干人	第2学期の現代数学要論 I bもあわせて履修すること。
第2	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 I b	吉野 雄二	若干人	第1学期の現代数学要論 I aもあわせて履修すること。
第1	金	7・8	専門科目	分子生物学 I A	富永 晃	10	第2学期の分子生物学 I Bもあわせて履修すること。
第2	金	7・8	専門科目	分子生物学 I B	富永 晃	10	第1学期の分子生物学 I Aもあわせて履修すること。
第3	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 II a	吉野 雄二	若干人	第4学期の現代数学要論 II bもあわせて履修すること。
第4	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 II b	吉野 雄二	若干人	第3学期の現代数学要論 II aもあわせて履修すること。

【医学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	水	6	専門基礎科目	医学概論	松川 昭博	10	
第2	水	7・8	専門基礎科目	形態・機能学 II	田口 勇仁	5	

【歯学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第3・4	火	6・7	専門基礎科目	細胞生物学	杉本 朋貞 他	5	第3学期, 第4学期の連続開講。

【薬学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	火	7・8	専門基礎科目	有機化学1	竹内 靖雄	若干人	

【工学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	金	7・8	専門科目	回路理論A1	今井 純	若干名	第2学期の回路理論A2もあわせて履修すること。
第2	金	7・8	専門科目	回路理論A2	今井 純	若干名	第1学期の回路理論A1もあわせて履修すること。

【環境理工学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第3	金	7・8	専門科目	環境分析化学 I	加藤 嘉英	5	

【農学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第3	火	7・8	専門基礎科目	基礎分子生物学1	牛島 幸一郎	5	第4学期の基礎分子生物学2もあわせて履修すること。
第4	火	7・8	専門基礎科目	基礎分子生物学2	牛島 幸一郎	5	第3学期の基礎分子生物学1もあわせて履修すること。
第3	金	7・8	専門科目	栄養生化学1	森田 英利	5	第4学期の栄養生化学2もあわせて履修すること。
第4	金	7・8	専門科目	栄養生化学2	鶴田 剛司	5	第3学期の栄養生化学1もあわせて履修すること。